

# イオラニ、プナホウへの道



ドクター高橋俊明  
心理学博士／ドクター高橋塾塾長  
宮崎県出身。東京教育大理学部生物  
学科卒業。東京教育大教育学部心理  
学科で修士号取得、ハワイ大心理学  
部で博士号取得。1968年に川崎市、  
69年に文京区、そして77年にホノ  
ルルに塾を設立。2019年はハナハウオリ校に2人、プナ  
ホウ校に61人、イオラニ校に52人合格。平均合格率は  
67.7%。

Web: www.juku-in-hawaii.com  
☎808-949-3366 / 808-679-5612 (日本語)

## 【その234】幼稚園の合格発表

4月18日～21日に、プナホウ校やイオラニ校などの幼稚園の合格発表がありました。4月24日現在、30人の幼児が合格しました。プナホウ校合格者が20人、イオラニ校合格者が23人、延べ43人のうち13人は両校に合格しました。

これらの生徒は早急に2校のうちどちらを選ぶか決めなければなりません。塾にはそのための相談が寄せられています。塾生だけで13人分の合格枠がWaitingに回ることになります。塾生の中には、両校ともWaitingになった生徒もいます。Waitingの生徒がどちらかに合格してもらいたいと真剣に祈り、できることをしっかりしていこうと思います。ハナハウオリ校のジュニアキンダーには1人が合格しました。ここで2人の体験談を紹介します。

### 試験日3週間前に来た女の子

中国語を母国語とする女の子Fちゃんが来塾したのは2019年10月16日のことでした。イオラニ校の個人面接を11月6日、プナホウ校の面接を11月9日に控えていました。

急きょ、通常の学力診断ではなく、簡易の模試を行いました。正答は

Phonicsで15問中わずか2問でした。算数は10問中6問正解で、算数には強いと判断しました。2次元の絵を見てブロックで3次元の形を作る問題は6問中0点でした。試験官の説明を十分に理解できず、何を問われているか全く分かっていないことが原因でした。

総合的な結果は、正答が80問中21点でした。長年の経験から、80問中60点以上取れば、まず合格は間違いありません。50～59点ぐらいだと合格とWaitingの可能性が半々。40点以下だと、ほぼ不合格です。Fちゃんは、この時点では、合格の可能性はありませんでした。この現実をデータを基に説明し、ここから合格にもっていくために、二つのことをご両親にお願いしました。イオラニ校とプナホウ校に連絡し、試験日を変更してもらうこと。また、できるだけ多くの時間を塾の先生と一対一で過ごすことの2点でした。

ご両親の対応は早いものでした。翌日10月17日から毎日1時間、個人指導を行いました。すると簡易模試の得点が80問中40点に上がりました。この変化はFちゃんの優秀さを物語って

います。「この子は勉強すればするほど、短期間で得点を上げられる」と確信しました。そこで、かつて行ったことのない勉強プランを提示したところ、ご両親もすぐに了承されました。

10月30日からは、午後12時から1時間、午後5時から1時間、午後7時から1時間、1日計3時間の個人指導を行いました。11月1日からは、朝から夕方まで間隔を空けて1日5時間の個人指導を実施しました。11月5日の簡易模試では80問中69点に到達。3時間に及ぶ正式なグループ模試では、11月17日に50点、11月29日に55点を取り、合格の可能性がグンと上がりました。プナホウ校の試験は11月末、イオラニ校の試験は12月中旬に行われ、イオラニ校に合格、プナホウ校がWaitingでした。

塾の講師からは「1日5時間なんてやり過ぎだ」との非難も出ました。それは率直にご両親に伝えました。しかし、本人が頑張っているのも、私もハラハラして見守っていました。少しでも疲れが出れば、個人指導を見合わせようと思いつつ。健気に頑張るFちゃんの合格を聞いたとき、塾の先生とともに喜びをかみしめました

## 日本から来て両校に合格

2019年夏、日本のインターナショナルスクールに通う4歳になったばかりのG子ちゃんが、4日間だけ勉強しに来ました。2020年にイオラニ校に合格したらハワイに移住するつもりだ、と聞き、G子ちゃんは午後12時～午後3時の3時間、勉強し、帰国しました。

次にG子ちゃんがハワイに来たのは10月11日。それから今年の2月末まで毎日2～3時間の個人指導を受けました。模擬試験の結果は、10月が41点、12月が24点と50点、今年1月が30点、2月が38点というふうに、かなりむらがありました。特にBehaviorは気分によって良いときと悪いときの差が大きいことが心配でした。

しかし4月21日、「本日受験の結果が出ました。プナホウ、イオラニの両校から合格をいただきました。本当に信じられないほどうれしいです…日本から挑戦し、娘に無理をさせてしまっているのではと不安に思うこともありましたが、とても良い結果をいただけて良かったです」とのお便りをいただきました。